

かごしま茶通信

公益社団法人 鹿児島県茶業会議所

鹿児島市南栄3丁目12

TEL(099)267-6063

FAX(099)267-6957

<http://www.ocha-kagoshima.jp>

発行責任者

会頭 柚木弘文



令和 新茶まつり

3年ぶりに開催



3年ぶりに「新茶まつり」を5月7日、8日に鹿児島中央駅アミュ広場で開催しました。「新茶まつり」は平成11年に初開催して以来、今回で23回目を迎えました。昨年・一昨年と新型コロナウイルスの影響により2年連続で中止となりましたので、令和になってからは2回目の開催です。今年は、検温・消毒・マスクの着用などの対策を講じるとともに「百円茶屋」は実施しませんでした。毎年このまつりを楽しみに待ち望んでいたお客様もおられ、多くの来場者で賑わいました。今回は、12店舗が出店し、試飲・販売を行いました。かごしまCHAガールとのジャンケン大会やガラポン抽選会も行われ、子供から大人まで楽しんでいただきました。日本一早い走り新茶が生産され全国有数の生産量を誇る鹿児島の新茶を、いち早く県民の皆様へ届ける良い機会となりました。これからも「かごしま茶」が愛され、国内外にさらに広まることを期待しています。



令和4年度事業計画及び収支予算

(公社) 鹿児島県茶業会議所

I 基本方針

本県の茶業は、関係者の意欲的な取組により、生産量は全国の3割を占め、2019年の農業産出額では静岡を抜いて日本一になるまでに発展し、品質面においても全国茶品評会で18年連続となる産地賞や農林水産大臣賞を受賞するなど、量・品質ともに全国有数の産地となっている。

一方、緑茶の消費は、リーフ茶と緑茶飲料の消費額が逆転するなど、簡便な形態での飲用に移行し、リーフ茶の消費が減少傾向にある。

令和3年度の茶況は、非常に厳しかった昨年に比べ幾分の持ち直しが見られたものの、新型コロナウイルスの終息時期や終息後の社会経済情勢の不透明さなど、茶の生産・販売環境は厳しい状況が続いている。

このような中、安全・安心でクリーンなかごしま茶の情報発信等の取組を積み重ねることにより、緑茶需要の回復と掘り起こしを図るとともに、かごしま茶の国内外へのアピールを継続する。

かごしま茶の販路拡大については、引き続き「新茶まつり」、「お茶一杯の日」のイベントやふれあい活動を実施し、「かごしま百円茶屋」の開催等を通じて「かごしま茶」の魅力・茶文化を消費者に伝える。

また、IT利用世代への情報発信・知名度向上の手段として、SNS（インスタグラム）や、Web広告の活用を一層進め、PRに努める。

かごしま茶の県外での販売拠点となる「かごしま茶販売協力店」については、かごしま茶販売促進フェアの実施や販促資材の支援等によりかごしま茶の販売拡大を図る。

かごしま茶の輸出については、サプライチェーンシステムによる輸出仕向け茶の生産・流通の拡大を図るとともに、国内外でのかごしま茶のPRや商談会により販路の開拓・拡大を図る。

鹿児島県茶業振興大会は、茶業会議所が単独で開催する。

さらに、県茶市場の円滑、適正な運営と債権損失補償事業の適正な運営に努め、かごしま茶の流通の拡大を図る。

II 実施計画

1 かごしま茶流通拡大対策事業（公益目的事業）

(1) 茶業振興対策事業

県茶業振興大会を開催し生産農家の意欲向

上と茶業振興の意思統一、消費拡大を図るとともに、全国組織・関連団体と協調し我が国の茶業振興の連携を図る。

ア 県茶業振興大会事業

式典(令和5年度県茶生産協会総会時)、県品評会等審査会9月

イ 全国関係団体連携事業

- ・茶業中央会事業（(公社)日本茶業中央会等の活動）
- ・全国お茶まつり等助成事業～全国お茶まつり（京都府 11月19日予定）
- ・世界お茶まつりへの出展

ウ かごしま茶情報発信事業

- ・かごしま茶通信の発行（3回）
- ・SNS(インスタグラム)を活用した情報発信
- ・会議所ホームページのリニューアル

(2) かごしま茶ふれあい事業

茶業専門家の緑茶の普及活動や若者の緑茶とのふれあいを支援するほか、専門店・消費者へのかごしま茶の認知度向上などの活動を通して、日本の食文化における緑茶の普及定着と安全・安心でクリーンなかごしま茶の流通の拡大を図る。

助成事業の活用

- ・国内消費：①「かごしま茶」魅力創出事業（県補助金）
- ・輸出：（かごしまの農林水産物輸出促進事業ビジョン推進事業）
 - ②「かごしま茶」の新たな販路開拓支援事業（県補助金）
 - ③日本茶輸出促進協議会事業

ア 消費者お茶ふれあい事業

- ・日本茶インストラクター支部支援（県内外支部への対応強化）
- ・茶業青年団等活動支援～かごしまChaガール・T-1グランプリの活動支援
- ・子ども達等のお茶とのふれあい活動支援
- ・かごしま百円茶屋の展開（コロナの終息状況を考慮して実施）
- ・新茶祭り等イベントの開催
令和4年新茶まつり（5月7日・8日）、お茶一杯の日(11月23日)、
- ・量販店等一斉キャンペーンの支援
- ・観光客等への「かごしま茶」のPRとふるまい（空港、仙巖園等）

科 目	令和4年予算額(A)	令和3年予算額(B)	増減(A)-(B)
受取履行保証保険負担金(計)	2,001	2,820	△ 819
受取経済連負担金	1,401	1,970	△ 569
受取茶商協負担金	600	850	△ 250
運用益(計)	18,010	18,010	0
債権損失補償準備特定資産運用益	17,600	17,600	0
国債簿価調整	410	410	0
受取補助金(計)	6,940	6,900	40
受取県補助金(魅力アップ対策)	3,240	3,200	40
受取県補助金(輸出拡大対策)	2,900	2,900	0
受取補助金(国産茶需要拡大補助金)	800	800	0
雑収益(計)	530	530	0
雑収入	530	530	0
経常収益計	91,566	92,345	△ 779
(2) 経常費用			
① かがしま茶流通拡大事業	71,263	71,916	△ 653
ア 茶業振興対策事業	9,309	8,670	639
(7) 茶業振興大会開催事業	3,759	5,461	△ 1,702
(4) 全国関係団体連携事業	3,430	1,981	1,449
(9) かがしま茶情報発信事業	2,120	1,228	892
イ かがしま茶ふれあい事業	60,570	62,162	△ 1,592
(7) 消費者お茶ふれあい事業	23,184	24,454	△ 1,270
(4) かがしま茶知名度向上対策事業	24,910	25,520	△ 610
(9) 販売協力店等対策事業	5,130	5,275	△ 145
(4) かがしまブランド確立事業	361	873	△ 512
(9) かがしま茶輸出対策事業	6,985	6,040	945
ウ 茶市場運営事業	1,384	1,084	300
② 負担金軽減額への補てん金	0	6,355	△ 6,355
③ 債権損失補償事業	5,265	6,842	△ 1,577
④ 管理事業	25,622	24,832	790
経常費用計	102,150	109,945	△ 7,795
当期経常増減額	△ 10,584	△ 17,600	7,016
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,584	△ 17,600	7,016
一般正味財産期首残高	77,682	72,956	4,726
一般正味財産期末残高	67,098	55,356	11,742
II 指定正味財産増減の部			0
(1) 受取債権損失補償負担金(計)	7,000	6,800	200
受取債権損失補償県内取引負担金	6,700	6,500	200
受取債権損失県外取引負担金	300	300	0
(2) 債権損失			0
当期指定正味財産増減額	7,000	6,800	200
指定正味財産期首残高	1,462,829	1,457,009	5,820
指定正味財産期末残高	1,469,829	1,463,809	6,020
III 正味財産期末残高	1,536,927	1,519,165	17,762

(注) 一般正味財産、指定正味財産の期首及び期末残高は本予算編成時の見込額です。

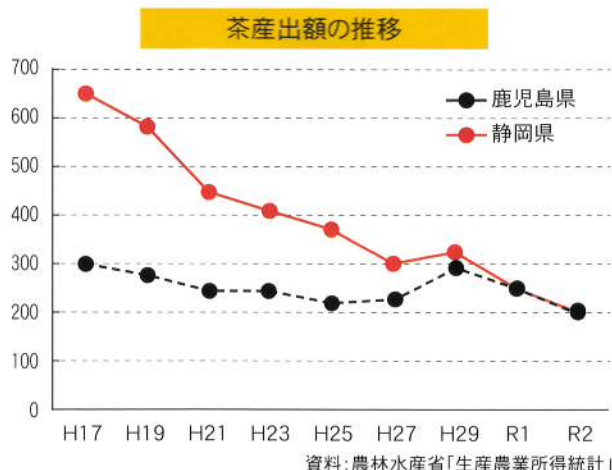
令和4年度 鹿児島県茶業振興対策について

鹿児島県農産園芸課

1 はじめに

本県は、茶の荒茶生産量・栽培面積ともに静岡県に次ぐ全国第2位を誇る産地であり、令和3年度の荒茶生産量は、全国の約34%(1位の静岡県は38%)を占めるなど、全国における本県の荒茶生産量・栽培面積のシェアは増加傾向にあります。

また、令和2年の茶産出額は198億円で、静岡県の203億円の伯仲しています。



品質面においても、全国茶品評会の普通煎茶10kgの部において18年連続で産地賞を獲得するなど高い評価を得ています。

一方で、令和3年産茶の平均単価は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準まで回復したものの、燃油や資材価格の高騰により、県内茶生産者の経営は、依然として厳しい状況にあります。

そこで、県においては、平成31年3月に策定した『「かごしま茶」未来創造プラン』に基づき、「儲かる茶業経営」を目指して、各般の施策

を推進しています。

特に、近年、健康志向を背景に、海外における緑茶の人気の高まっていることから、海外で需要が高い有機栽培茶や抹茶の原料となるてん茶の生産拡大など、輸出拡大に向けた取組強化を図っています。



2 令和4年度主な取組内容

令和4年度の主な取組内容について御紹介します。

(1) 生産者の経営安定

生産者の経営安定を図るため、高収益茶種への転換や複合経営による所得向上、スマート農業技術の開発・普及による省力化、法人化による雇用条件や労働環境の整備等の担い手確保対策などを推進します。

また、燃油価格の高騰に対応するため、重油価格と積立金額に応じて補填金が支払われる国の茶セーフティネット構築事業への加入促進を図ります。

(2) 加工及び流通の高度化

加工業者等と連携した商品開発など、6次産業化の取組による経営多角化の推進、相対による契約取引など、流通の多様化に対応した販売チャネルの拡大、生産者・茶商による県内での仕上茶加工への取組を推進します。

(3) 品質・付加価値の向上促進

品質・付加価値の向上促進については、栽培・加工技術の研究やその普及、ドリンク原料茶や抹茶・紅茶など多様な茶づくりの推進、消費者の安全・安心への期待の高まりに対応するため、各種GAPや有機JASなど第三者認証の取得やSDGsな茶づくりの強化などの取組を推進します。

また、有機栽培の生産拡大に向けては、「有機栽培茶生産マニュアル」を活用した技術支援等を進めています。農薬の飛散防止対策については、飛散防止カバーの適正使用と農薬使用管理を推進するとともに、他品目の生産者の理解を得ながら、「収穫直前お知らせ旗」設置等の取組を進めています。

(4) 消費の拡大

かごしま茶の消費拡大については、かごしま茶屋の継続した実施や、茶販売協力店や茶商の営業活動を強化し、有機茶など多種多様な茶種を提案することで、「かごしま茶」の認知度向上を図り、ファン拡大につなげていきます。

本年度京都府で開催される「全国茶品評会」においては、普通煎茶10kgの部で19年連続産地賞や複数部門での上位入賞を目指し、茶園管理と良質茶製造に向けた取組を強化するとともに、その結果を積極的にPRし、ブランド力の向上を図ります。

また、リーフ茶離れが進む若年層の消費喚

起や「かごしま茶」の認知度向上を図るため、誰でも簡単においしいお茶が飲める「フリーズドライ緑茶」の商品化支援や「カフェスタンド」の設置、県内ホテルや小売店等と連携したコラボ商品の開発など、新たな視点でのアプローチに取り組みます。

さらに、茶に含まれる機能性を前面に出したPRを強化するため、研究機関や大学と連携した機能性分析・評価に向けた取組を進めます。



フリーズドライ緑茶



かごしま茶(抹茶)を使用したスイーツ

(5) 輸出の促進

「農林水産物輸出促進ビジョン」に基づく輸出相手国に応じた戦略的取組の強化、「かごしま有機抹茶輸出促進基本構想」に基づく有

機栽培茶・有機抹茶の生産拡大や販路開拓に向けた取組強化、海外の需要に対応した茶づくりや流通システムの機能強化、国際水準GAP及び有機JASの認証取得を推進します。

本県における茶栽培面積、有機栽培面積の推移

(単位:ha)

項目	R元年度	R2年度	R3年度	R3/H23
茶栽培面積(①)	8,400	8,360	8,300	96%
有機栽培面積(②)	636	663	698	316%
割合(②/①)	8%	8%	8%	-
うち有機JAS面積(③)	549	567	578	304%
割合(③/②)	86%	86%	83%	-
参考:静岡県有機栽培面積	193	198	210	-
参考:全国有機JAS面積	1,352	1,374	-	-

(資料)茶栽培面積(農産園芸課まとめ)、有機栽培面積、うち有機JAS面積(経営技術課まとめ)

かごしま茶の海外への情報発信や販路開拓については、「かごしま茶輸出対策実施本部」を中心に、日本茶大使(海外在住の日本茶インストラクター)と連携したPR活動、海外商談会への出展、海外バイヤー招へい、国際品評会への出展等の取組を進めます。

また、海外からの需要に対応するため、「かごしま茶輸出サプライチェーン」を核に、相手国のニーズや食品安全基準に対応した茶づくりを進めます。

さらに、有機抹茶の生産を推進するため抹茶加工施設の整備を促進するとともに、昨年度設立した「せいめい」研究会を中心に、県内の茶商と生産者が協力し、海外需要に対応できる新品種「せいめい」について産地化と同時に販売拡大に取り組みます。

(6) かごしま茶の文化の振興

手摘み体験やお茶の入れ方教室など、児童生徒への茶と触れ合う機会を提供するとともに

に、茶にまつわる歴史や文化を継承し、それらを観光の資源として、インバウンド等へ情報発信することにより、かごしま茶のファンづくりを進めます。

3 おわりに

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、イベントの中止・縮小などが相次いでいます。

県においては、今後の動向を注視しながら、①県内外での「かごしま茶」の認知度向上など需要喚起、②高収益な茶種への転換や省力・省エネ化による茶業経営の改善、③海外需要に対応した茶づくりなど輸出の拡大に取組み、「儲かる茶業経営」の実現を目指します。

生産量・品質・産出額ともに全国1位を見据えて、「茶」と言えば「鹿児島」と言われるように、生産者をはじめ、関係機関・団体と一体となって取り組んでまいりますので、一層の御理解・御協力をお願いします。

【「かごしま茶」未来創造プラン】

https://www.pref.kagoshima.jp/ag06/kagoshimacha_mirai_plan.html

(県農政部 農産園芸課 茶業係)



本県茶業を担う若者たち

～ 農業大学校の茶業科 新入生紹介
ご指導・ご支援よろしくお願ひします! ～

令和4年4月12日、県立農業大学校農学部茶業科に45期生4名が入学しました。学生は、将来、就農や茶関連法人等への就職を希望しており、本県茶業の担い手として期待されます。

農業大学校では、2年間、茶園管理、加工等の実習や講義を実施します。その中で、学生は、技術、販売、経営等の課題を見だし、その課題解決に取り組みながら、栽培・加工・病虫害・土壌肥料の知識・技術を習得する計画です。



浦地 瑠
(志布志市)

品種の特性を理解し、うま味豊富なお茶づくりを目指します。



泊 晃太郎
(南九州市)

紅茶の品質安定、生産効率化に興味があります。



福田 正虎
(志布志市)

農業に頼らない、環境に配慮した茶づくりを目指します。



松元 賢蔵
(南九州市)

摘採期による品質の違いを学び、お茶づくりに活かします。

農業大学校は将来の本県茶業を担う人材の育成に、今後とも取り組んで参ります。生産者をはじめ、流通・関連企業、関係機関、団体の皆様方、ご指導・ご支援をよろしくお願ひします。

<農業大学校夏のオープンキャンパスのご案内>

農業大学校では「夏のオープンキャンパス」を2回予定しています

期日:8月9日(火)、8月21日(日)

農業に興味や関心のある方、農大の教育内容等を知りたい方は、ぜひご参加ください。多数の参加をお待ちしています。申込方法は、最寄りの支庁・地域振興局の農政普及課等、または以下へお問い合わせください。

問合わせ先: 鹿児島県立農業大学校 教務指導課
〒899-3311 日置市吹上町和田1800
TEL:(099)245-1071

<茶業科および全体内容(予定)>

- ★農大概要説明、入学案内
- ★学生による学科紹介
- ★農大施設見学
 - ・教室、ほ場、学生寮 など
- ★体験実習
 - ・茶摘採機乗車体験



*農業大学校のホームページでも確認できます。

鹿児島農大

検索



流通情勢



令和4年産 一番茶取扱概況



令和4年5月31日現在

JA鹿児島県経済連 茶事業部

1. 取引概況

(1) 生育については、昨年の秋整枝以降(10月中下旬)から年明け3月上旬までの平均気温が平年並みから低めに推移したことで、一番茶芽となる冬芽はやや小さいながらも十分な休眠を得ることができた。また、3月中旬以降の気温の上昇とともに、早生品種及び中生品種を問わず、一斉に芽が動き出し、4月以降も強い冷え込みなど、気象の影響を受けず順調な芽伸びとなったことで品種間差の少ない一番茶となった。また、中山間産地の生産が開始した4月中旬から下旬にかけても、暖かい雨の降る日が多く、中生品種と晩生品種の生育差も縮まり、全県的に品種間差の少ない、短期集中型の生産となった。

- ・新茶の取引開始は、昨年より6日遅い3月30日(種子島産)
- ・新茶初取引会は4月6日、56点2.7トン(本茶のみ)(R3:4月5日 650点68.9トン)

(2) 早場産地が生産を開始した4月上旬は早生品種及び中生品種での品種間差があまりみられず、天候にも恵まれたことで、生産開始当初から、深夜操業が行われるなど、短期集中を見越した生産体制となり、一気に盛期入りとなった。また、総体的に早生品種においては芽揃いの良い茶園が多く、収量を確保しつつ品質良好な新茶が多く生産された。一方で、4月11日以降は、降雨の影響により、製造を見合わせる工場も多くみられ、生産は足踏み状態となった。また、生産最盛期の産地の原料においては、降雨以降の製品で、硬葉化による品落ちが見られ

始めたものの、上げ摘みや若芽での前倒し摘採など、集中生産期における品質を落とさない生産が行われた。

(3) 中山間産地が開始した4月15日以降も、曇天や降雨に見舞われる日が多く、更新園や生産の中心となる‘やぶきた’等で、下位芽の伸育が緩慢となり、減収傾向となった。なお、日照不足の影響から被覆遅れによる色のりに乏しい製品や、芽の伸育に生産が追い付かないことで、白茎の多い製品の出回りが早まるなど、旬の短い生産となった。

(4) 取引については、中間産地での生産が始まった4月17日から22日にかけての6日間が日量200トンを上回る上場量となり、市場の最盛期を迎えたものの、中間産地が最盛期となった4月下旬以降は、旬を通じて雨の日が多く、雨の合間を縫っての生産となり、出回り量も170トンから100トン前後と日毎の上場量に増減がみられた。

【200 t以上の上場 R3:3日間、R2:1日間、R1:5日間、H30:8日間】

(5) 県茶市場の取扱量は、早生品種の多い早場産地で平年並みから増産となったものの、中山間・遅場産地の早生・中生品種で減産傾向となり、5月31日現在4,509トンとなっている。
(前年最終実績4,521トン、前年比100%)

2. 品質及び市況

(1) 開始当初の早生品種において、新芽が気象の影響(低温や強風など)によるストレスを受け

ず順調に生育したことで、芽合い、色沢、水色、内質に優れた新茶らしい品質良好な製品が上場され、特に、内質においては「近年では一番の出来」と評する買い手も多く、品種を問わず4,000円以上での取引となった。

- (2) 本茶の上場数量が100トンに迫り、取引が本格化した4月11日以降は、‘さえみどり’が4,000円前後で強い引き合いを維持したものの、‘ゆたかみどり’は2,000円台が中心となり、品種による価格差が見られた。また、色沢や水色に欠点のあるもの、白茎の多い製品等が2,000円を下回り、品質差による価格差のある相場展開となった。なお、4月11日は激しい降雨により生産を見合わせる工場も多く、降雨後も昼夜の気温が高かったため、原料の硬葉化による品落ちによる価格の下げが進んだが、総体に摘採位置を考慮した生産など、品質維持に向けた生産が励行された。

【3,000円以上 R4：8日間、R3：1日、R2：1日、R1：2日間、H30：2日間】

- (3) 中山間産地の生産が本格化して市場の最盛期を迎えた4月中下旬においては、品種や蒸し程度を問わず、芽があり、色沢、水色の良い製品は4,000円以上での取引もみられたが、中生品種の‘やぶきた’等の生産が本格化した4月20日前後から、新茶手当が一巡し年間仕入れヘシ

フトしたことに加え、短期集中による品落ちの速さも相まって、取引の中心は1,500円～2,500円に集中し、品質差の割に価格差の小さい軟調な相場展開となった。

【2,000円台 R4：9日間、R3：13日間、R2：12日間、R1：13日間、H30：10日間】

- (4) 5月に入ると、遅場産地の生産も本格化し、‘おくみどり’等の晩生品種の上場割合も増加したが、4月下旬における連日の暖かい雨の影響等により、中生品種と‘おくみどり’等の晩生品種の生産時期が重なり、摘み遅れの影響から重量感に欠ける製品が多く見られた。総体に、1,000円台前半が中心価格となったが、芽のある製品や色沢、水色の良い蒸し系の製品等、格のある茶は終始2,000円前後での引き合いが見られた。

- (5) 番茶については、ドリンク原料としての引き合いが弱かったことや、締まりのある製品が少なかったこともあり、600円台から下げが進み、400円台が取引の中心となった。

また、軟調相場の影響と製造コストの上昇から生産を見合わせる産地や工場もあり、番茶は減産が見込まれる。

- (6) 県茶市場の本茶平均価格は5月31日現在2,004円（前年最終1,916円 前年対比105%）となっている。

3. 一番茶取扱実績（5/31現在 最終比）

単位（数量：t, 平均@：円、対比：%）

	R4				R3				R4/R3対比			
	本茶	番茶	出物	合計	本茶	番茶	出物	合計	本茶	番茶	出物	合計
数量	3,141	927	441	4,509	3,121	1,015	385	4,521	101	91	115	100
平均@	2,004	609	832	1,602	1,916	612	841	1,532	105	100	99	105
	R2				R1				R4/R2対比			
	本茶	番茶	出物	合計	本茶	番茶	出物	合計	本茶	番茶	出物	合計
数量	3,333	975	352	4,660	3,504	970	356	4,830	94	95	125	97
平均@	1,621	656	650	1,346	1,865	798	858	1,576	124	93	128	119

4. 品種毎（本茶）取扱実績（5/31現在 最終比）

品種名	R4年産 取扱数量(t)	平均価格(円)			対比(%)	
		令和4年	令和3年	令和2年	R4/R3	R4/R2
ゆたかみどり	1,118	2,014	1,757	1,618	115	124
さえみどり	561	2,884	2,675	2,396	108	120
あさのか	131	1,921	1,957	1,525	98	126
あさつゆ	139	2,114	2,197	1,846	96	115
やぶきた	653	1,725	1,739	1,419	99	122
かなやみどり	79	1,469	1,631	1,070	90	137
おくみどり	101	2,067	2,297	1,862	90	111

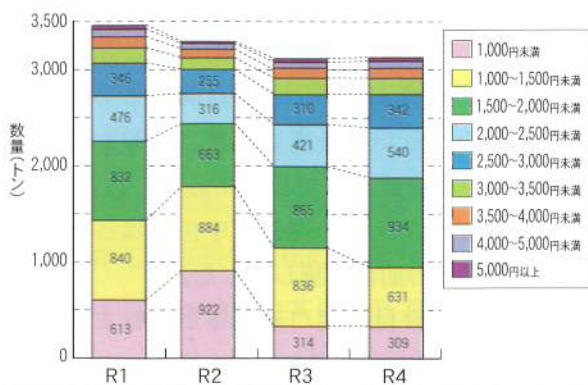
5. 県茶市場地区毎実績（5/31現在 最終比）

(単位:t、円、%)

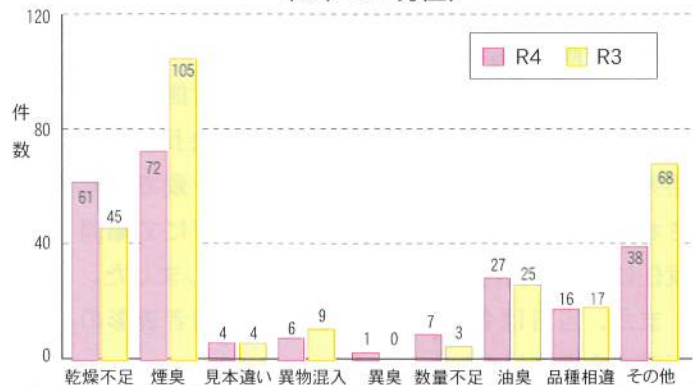
農協名	項目	令和4年				前年対比			
		本茶	番茶	出物	合計	本茶	番茶	出物	合計
いぶすき	数量	1,083	418	112	1,613	102	96	125	102
	平均@	2,285	627	916	1,760	105	99	110	105
南さつま	数量	972	183	67	1,221	103	81	96	99
	平均@	1,830	582	925	1,593	104	100	97	107
さつま日置	数量	312	16	78	407	92	84	113	95
	平均@	1,293	660	629	1,140	98	104	91	96
北さつま	数量	115	67	15	197	97	98	108	98
	平均@	2,214	573	1,367	1,593	89	88	81	88
鹿児島いずみ	数量	8	8	3	18	92	74	270	91
	平均@	1,773	614	457	1,101	89	90	88	88
あいら	数量	131	61	38	230	104	93	112	102
	平均@	2,041	661	553	1,427	95	97	86	96
そお鹿児島	数量	57	18	30	105	104	56	120	94
	平均@	2,132	837	883	1,554	91	152	94	103
あおぞら	数量	179	44	35	257	83	100	134	90
	平均@	1,970	508	782	1,559	112	118	94	106
鹿児島きもつき	数量	227	101	60	388	107	99	109	105
	平均@	2,254	568	891	1,605	112	98	115	112
種子屋久あまみ	数量	46	11	3	60	147	91	171	133
	平均@	2,052	620	1,109	1,745	142	91	121	143
その他	数量	10	0	1	11	106	207	135	109
	平均@	2,016	572	669	1,899	103	78	87	100
合計	数量	3,141	927	441	4,509	101	91	115	100
	平均@	2,004	609	832	1,602	105	100	99	105

※ラウンドにより合計は一致しない場合がある。

6. 価格帯別取扱実績（5/31現在）



7. 苦情茶並びに欠点茶の内容別発生件数（5/31現在）



県茶生産協便り

令和4年度の 取り組み状況と活動計画について

(一社) 鹿児島県茶生産協会

経営改善研修会・定期総会並びに茶業功績者表彰を開催



新型コロナの感染拡大により延期されていた「令和4年度経営改善研修会及び定期総会」が、令和4年5月19日(木)鹿児島サンロイヤルホテルで開催されました。茶の生産と重なり参加者は例年より少なくなりましたが、茶業関係者を含め、約110名が出席しました。

経営改善研修会では、(株)九州経済研究所経済調査部 福留一郎部長に「かごしま茶の未来を考える」と題して講演頂き、仕上げ茶の流通拡大等の提言をいただきました。

総会では、第1号議案「令和3年度事業報告及び計算書類について」が承認された後、令和4年度事業計画及び収支予算を報告しました。

第2号議案では、参議院議員の野村哲郎顧問に加え、自由民主党の茶業振興議員連盟会長、森山裕衆議院議員の顧問への推薦が、全会一致で承認されました。森山議員からはメッセージにて顧問就任について快諾いただき、総会を終了しました。

また、当日は令和3年度全国茶業功績者表彰の伝達式を実施しました。



この賞は、公益社団法人 日本茶業中央会が「茶業の発展向上に関し、特に顕著な業績を挙げられた者を顕彰し、茶業関係者の活動促進と茶業及び茶文化の振興に資する」ことを目的にしております。本来なら、令和3年度に開催されました「全国お茶まつり大会式典」で表彰するところですが、新型コロナウイルス等の関係で中止となったことから、定期総会の前に実施しました。

本県からは、会員の堀口泰久様がこれまでの御功績により表彰されました。

令和4年度の主な事業計画

以下が主な計画です。会員・関係者の皆様方の御協力をお願いします。

1 クリーンなかごしま茶づくり生産推進事業

令和2年度から県下一斉による「お知らせ旗」がスタートしました。

「お知らせ旗」は農薬飛散防止対策として収穫の10日前から、収穫が終わるまで茶園に設置し、「収穫直前」であることをお知らせする目印です。

「信頼される産地づくり」につながるものと期待されます。



2 茶業経営向上活動事業

(1) 県内外に向けたイベント等による消費拡大対策

- ア 茶業会議所と共同で「百円茶屋」を実施
- イ かがしま茶お茶マルシェの開催 (11月頃)
- ウ 全国地紅茶サミット in 鹿児島への協賛 (11月)
- エ 全国和牛能力共進会鹿児島大会でのお茶振る舞い (10/6~10)
- オ 県外観光客へのかごしま茶PR
鹿児島空港、鹿児島中央駅、天文館(センターラス)の大型ビジョンでCMを放映 (5/1~31)
- カ 日本茶インストラクターかがしま茶プロモーション
関東等の日本茶インストラクターを募り、

「産地ツアー」を実施。本年は昨年、県茶業振興大会が開催された薩摩川内市や南薩・茶市場等を巡り、かがしま茶への理解を深めてもらう計画 (10月)

(2) メディアを活用した認知度向上対策

ア テレビCM等によるPR

放送局	番組名	曜日	放送期間	放送時間
MBC放送	THE TIME	金曜日	4~12月	朝6時台
KTS放送	めざましテレビ	火曜日	4~12月	朝6時台



イ インスタグラムによるPR

若年層の利用率が高い「インスタグラム」で「かがしま茶」をPR。「かがしま茶ナビ」で検索してください。毎週、情報を掲載中。

(3) 学校等との連携による魅力創出・PR対策

- ア 県立短期大学、高校農業科等による「かがしま茶」PRと魅力の創出を支援
現在、農学科、製菓に関する学科等を有する高校20校に案内中。
(募集期間は5月31日まで)
- イ お茶とのふれあい事業資材提供
現在、県内各地の小学校235、児童数9,405名が受講予定。

県茶商協便り

鹿児島県「お茶マップ」の活用について

鹿児島県茶商業協同組合

全国茶商工業協同組合連合会（全茶連）では、農水省の支援を受けて全国主要産地のうち、これまで6エリアの「お茶体験案内マップ」を作成しています。

（令和2年度：東京・大阪・京都、令和3年度：静岡・愛知・鹿児島）

鹿児島県内分は、当組合の希望する事業所が地域ごとに掲載されています。

内容は県内をエリアごとに分類し、観光地の案内や茶の淹れ方指導・施設見学が可能な店舗等が表示されていますので、県内外観光客にも喜ばれる小冊子になっています。

これまで、全茶連より県内各地の観光協会や仙巖園・東京のかごしま遊楽館等にも直送され喜ばれています。

当組合においても5月7日～8日に鹿児島中央駅前アミュ広場で開催された「令和新茶まつり」に会場された方々に配布してPRを行いました。

また、英語版も作成されており、今後來鹿が予想される外国人観光客や茶の商談会等にも活用できるものと考えます。

なお、ご利用を希望される場合には当組合までご連絡ください。価格は無料です。

（現在の在庫：日本語版 700冊・英語版 200冊）

鹿児島県「お茶マップ」

鹿児島県「お茶マップ」

鹿児島県の中部に位置する県都で、低湯が有名です。数々の産店街で形成された繁華街「天文館」では、お茶の体験をはじめ、いろいろな体験ができています。

無料体験 淹れ方指導 飲み比べ試飲等 ブレンド体験 施設見学 喫茶・飲食 茶器販売等 菓子販売等

無料体験 淹れ方指導 飲み比べ試飲等 ブレンド体験 施設見学 クレジットカード利用 WiFi無料 駐車場

QRコードを読み取ると店舗の詳細マップが開きます。

1 (株)お茶の沢田園
タイヨー花相店
鹿児島県鹿児島市吉野町363-1
☎099-244-6682 ☎みやこ通り(バス)
☎9:30~18:00 団体
お茶好きの方から初心者まで、いろいろな淹れ方を体験できる。お茶の淹れ方指導、お茶の淹れ方指導、お茶の淹れ方指導をおすすめします。

2 お茶の美老園 仙巖園店
鹿児島県鹿児島市吉野町970-1
仙巖園内「上皇苑」の隣
☎099-247-1551 (仙巖園代表)
☎9:00~17:00
3月第1日曜日(鹿児島マツダの高)
お茶の淹れ方指導、お茶の淹れ方指導、お茶の淹れ方指導をおすすめします。

3 みのる園茶舗
鹿児島県鹿児島市東千石町8-18
☎099-222-8625 ☎天文館通駅
☎10:00~18:00 年中無休
和風のお茶室、お茶室をメインに、鹿児島県産のお茶を淹れ、淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

4 お茶の美老園 本店
鹿児島県鹿児島市中央5-2
☎0120-353-204 ☎いづつ(バス)
☎10:00~18:00 ☎1月1日のみ
お茶淹れ方の淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

5 お茶の美老園 山形路店
鹿児島県鹿児島市金生町3-1
山形県産のお茶
☎099-227-6020 ☎鹿児島中央駅
☎10:00~18:30 ☎1月1日(日)
お茶の淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

6 お茶の美老園 アミュプラザ店
鹿児島県鹿児島市中央町1-1
アミュプラザ鹿児島地下1F
☎099-204-1220 ☎鹿児島中央駅
☎(お茶)10:00~20:30
☎(淹れ方)10:00~21:00
お茶淹れ方の淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

7 三州製茶(株)
鹿児島県鹿児島市平町3-39
☎099-222-1584 ☎千石(バス)
☎9:00~17:00 ☎土・日・祝日
淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

8 池田道茶堂
鹿児島県鹿児島市千代町3-11
☎099-226-3381 ☎天文館通駅
☎10:00~18:00 ☎日・祝日
淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

9 お茶の特香園 本店
鹿児島県鹿児島市南陽町4-21
☎099-224-2679
☎天文館通駅いづつ通駅
☎9:30~18:30 ☎水曜日
淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

10 お茶の知覧茶屋
鹿児島県鹿児島市新町4-1
☎099-223-1464 ☎いづつ通駅
☎9:00~18:30 ☎日・祝日
淹れ方指導、淹れ方指導、淹れ方指導をおすすめします。

アメリカお茶市場トレンド便り

在米コンサルタント

ロサンゼルスを拠点に活動しておりますナチュラル・プロダクツ業界専門のコンサルタントKentreeの溝呂木(みぞろぎ)です。現在ロサンゼルスを拠点に活動、情報発信をしています。

早速アメリカ市場の記事の紹介となります。

オーガニック茶市場 2032年までに26億ドル予想

WTN編集者 2022年4月14日



Future Market Insightsの最新レポート「オーガニック茶市場の展望2022-2032(Organic Tea Market Outlook 2022-2032)」によると、世界のオーガニック茶市場は年平均成長率8.2%で成長し、2032年までに約26億ドルの評価額に達すると予想されている。

オーガニック製品の人気の高まりの背景には、ライフスタイルの変化や、従来のものより健康的であるという考え方が広まったことがあげられる。

さらに、天然由来で無農薬の製品を消費する傾向が強まっていることから、世界中でオーガニック茶の売上増加が見込まれている。

食品の安全性も消費者にとって重要なポイントであり、オーガニック茶葉のように化学肥料を使用せずに自然栽培された食品は、より安全であると考えられている。このこともオーガニック茶市場を牽引する要因となっていると、Future Market Insightsは指摘する。

このように、オーガニックでクリーンな栄養価の高い飲料の増加傾向により、オーガニック茶業界は拡大すると予測されている。

レポートの主な内容

- ・現在(2022年)のオーガニック茶の市場規模は12億ドルである。
- ・オーガニックティー市場規模は26億ドル(2032年)予想、年平均成長率は8.2%(2022-2032年)である。
- ・オーガニック茶の様々な製品のタイプ(トゥルーティー、ハーブなど)に基づき、オーガニックハーブティーが予測期間中に市場シェアの50%以上を占めると予想される。
- ・北米のオーガニック茶市場は、予測期間中(2022-2032年)に年平均成長率7.9%で成長を記録すると予想される。
- ・ヨーロッパは2032年まで世界のオーガニック茶消費量の3/7を占めると予測される。
- ・ティーバッグのオーガニック茶は、予測期間中に40%以上の市場シェアを占めると予想される。
- ・オーガニック茶市場のサプライチェーンは、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、売上が低迷した。しかし、景気の回復や機能性飲料の需要増に伴い、市場は大きく成長すると予測される。
- ・オーガニック茶市場全体では、機能性飲料市場全体の1%未満を占めるとみられ、2022年末には1,225億ドルに達すると予想される。

世界のオーガニック茶市場は、大手企業と新しい革新的な茶の発売に注力する企業の統合を進めている。一方で、大手企業が戦略的に提携、買収し、市場の統合を可能にするため、生産能力の拡大をすすめている。

原題: Organic Tea Market Expected to Reach Valuation of US\$2.6 Billion by 2032(抜粋)

企業に影響を与える5つの消費者トレンド

アーロン・キール 2022年1月13日



消費をとおして「倫理的な調達」や「フェアトレード」を支持する消費者たちが、企業価値に影響を与えるトレンドを作り出している。

5つのトレンドの特徴

1. 持続可能性の重要性の高まり

サステナビリティ（持続可能性）の意識が高まる中、消費者からは環境面の付加価値がある商品を展開する企業が求められている。

実際、消費者の4分の1以上が持続可能性に基づいて購入していると回答し、これは、過去14年間で11ポイント増加し、2019年から4ポイント増加している。

2. 人権擁護と公正な賃金への要求

フェアトレードを志向する買い物客の73%が、農民と生産者に公正な価格が支払われるために、製品により多くのお金を払うことをいとわないうとしている。具体的には、フェアトレードコーヒーは1ポンドあたり最大35パーセント、フェアトレードチョコレートの場合には最大30%高くなる。また、フェアトレードに詳しい消費者の約4分の3は、認定製品を購入すると、「公正と正義のために立ち上がるコミュニティの一員である」と感じている。

大企業は、こうした消費者の要望に応えるため、サプライチェーンを見直している。例えば今年の初めに、ユニリーバは商品やサービスを直接供給している190か国の労働者が2030年までに生活最低賃金を受け取るとを保証すると発表した。

3. 日用品のオンラインショッピングはニューノーマルに 新型コロナにより多くの米国の消費者がオンラ

インでの買い物を選択し、この傾向は2022年まで続く見込みだ。2020年に米国のeコマースは32.4%成長し、合計7917億ドルに達した。

このデジタル化により、買い物客は、簡単に商品を比較し、企業の調達や製造方法が自分の価値観と一致しているかどうかを見極められるようになった。アマゾンにはオンライン小売業者と提携し、Climate Pledge Friendlyプログラムを通してフェアトレードに認定された商品を探しやすくしている。

フェアトレード・インターナショナルは、アマゾンがこのプログラムを立ち上げるために選んだ数少ない認証の1つであり、購買行動を促進している。

4. ジェンダー平等を推進

フェアトレードの商品をよく購入する人は、平均以上に女性の社会活動に関心を寄せている。世界の食料の大部分は女性によって生産されているが、農業には大きな「男女格差」があり、女性農家は男性農家に比べて土地、情報、金融信用、トレーニングなどの資源へアクセスしにくい状況だ。

フェアトレード認証は、男女平等のバランスを取り戻し、女性や少女の農業協同組合やコミュニティにおける人的、社会的、財政的、物理的資本の強化を支援することを意味する。

5. ミッション重視の企業+透明性

消費者は、自社のチームやサプライヤーを大切にするだけでなく、世界をより良い場所にするために貢献している企業を支援したいと考えている。

消費者は目的意識の高い企業から購入する可能性が最大6倍高いということがわかった。さらに、IBM Research Insightsによると、71%の消費者がトレーサビリティ（原産地や生産過程などがわかるようにすること）は非常に重要であり、それを提供する企業にはプレミアム代金を支払う意思があると述べている。これらは、企業が公正で透明なサプライチェーンを展開し、地球や人々の生活にどのような利益をもたらすかを示すことで、新しい顧客にアピールし、既存の顧客のロイヤルティを高める機会になることを意味している。

原題: Five Consumer Trends That Will Impact Brands in 2022, Per Fairtrade America (抜粋)

イノベーションとティートレンドの未来

Melissa Hago 2022年2月17日



新型コロナウイルスが及ぼす世界的な影響により、消費者は生活のあらゆる場面で健康上のメリットを求めるようになった。健康への意識の高まりとともに、生活もマインドの方向へとシフトしている。お茶の世界もこのような文化の大きな変化をトレンドに反映し、サステナビリティからデジタル開発まで、あらゆることに取り組んでいる。

主な茶のトレンド

1. 目的意識

スローライフを志向し環境とのつながりを考える消費者の間で、手作り製品への回帰が進んでいる。こういった消費者は製品の原産地とのつながりを求めるだけでなく、自然のパワーや癒しの恩恵を十分味わうために、生産過程にも興味を持っている。そのため、企業がどのように地球を大切にするか、気候危機に対する持続可能な取り組みに大きな関心を寄せている。



また、再利用可能なパッケージや倫理的な調達などを通じて、持続可能な解決策を策定している企業もある。例えばTease Teaで扱うお茶は、生分解性で、詰め替え可能であるため、ゼロ・ウェイスト(ゴミゼロ)に役立つ。また排出する二酸化炭素の2倍以上を除去し、地球に真のプラスの影響を与えている。また、日本コカ・コーラは、鮮度を保ちながら個包装を減らすフリーズドライの茶に注目している。

2. 健康志向

消費者が自分の体に入れるものをより意識するようになったことで、栄養に対する意識が高まり、お茶のトレンドにもそのことが反映されている。スーパーフードを使った茶、免疫力を高めるブレンド、腸内細菌のような特定の健康問題に焦点を当てた製品が人気で、消費者は健康のために茶を選ぶようになった。腸の健康による免疫力の向上が注目されるようになって以来、例えばHalfday Tonicsの缶入りティートニックのように、低糖質な緑茶や紅茶にプレ/プロ/ポストバイオティクス効果を加えることでこの健康ニーズに応えるブランドが増え始めている。



3. マインドフルネス

「魂」や「エネルギー」といった概念が従来の意味を超え、占星術、ソウルケア、エネルギーヒーリングといった形で注目されるにつれ、新しいスピリチュアルの動きが活発化している。消費者は心、体、魂の観点から自分自身をよりよくケアしたいと

考え、魂のケアは身体の健康と同じくらい重要だと考えているのである。

お茶はもともと心を落ち着かせるものだが、より深く、より魂のこもった体験をするために、スピリチュアルの意味を加えるブランドが増加している。月が健康にとって重要な意味を持つようになり、多くのブランドが月の周期に合わせたブレンドを提供しているのを目にする。例えば、Magic Hourは、月や占星術をテーマにしたブレンドを通じて、神聖な儀式を祝うお茶製品を販売している。Taylor Half Bakedは、カラフルなクリスタルガラスからアイデアを得た固形のキューブ状のお茶を扱う。キューブの中には食用の花とフレーバーティーバッグが入っていて、外側を砂糖で包んであるため、水に溶かすと美味しいお茶が味わえる。



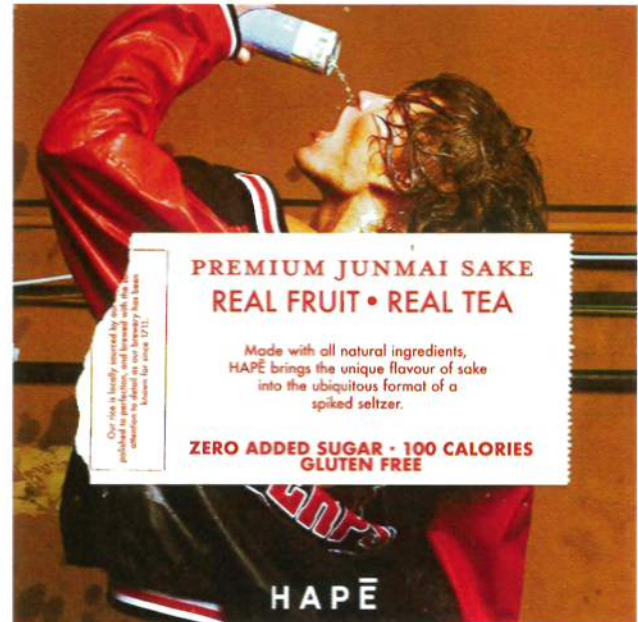
4. セレブレーション

ストレスや孤独感を覚える人が増える中、消費者は人とのつながりや地域の絆を通じて癒されたいと願うようになった。真に必要とされていることは、ポジティブで気分を高揚させる製品や体験を通じて互いに協力し祝福し合うことである。

お茶の世界では、さまざまな形でこの傾向が見られる。特に、アルコール入りのブレンドや、ソフトドリンクに代わるより健康的なスパークリングティーに重点が置かれている。Hape Sakeの茶と日本酒のブレンド飲料や、Fortnum and Masonのスパークリングティーは、シャンパンボトルをモチーフにし

たパッケージによって場を華やかに演出する。

お茶は純粹に心を落ち着かせる飲み物であるが、これらの製品は特別なお祝いやパーティーの夜を豪華に彩ることができる。



5. サイバー時代

お茶業界もデジタル化が進み、AI、AR、VR技術を活用してユニークな茶を製造し、消費者とつながる企業がより増えている。お茶とテクノロジーは不自然な組み合わせのように思えるかもしれないが、それらテクノロジーは、個性的な茶体験をデザインしている。

お茶製造技術の進歩に加え、ゲーミフィケーション、NFTなどのトレンドが、食品、美容、健康などに統合されてきたのと同様に、お茶の世界にも訪れることだろう。

原題: Innovation and the Future of Tea Trends(抜粋)

詳しくはブログにて

<http://kagoshimacha.blogspot.com>

今回のカフェの紹介は「女子会でいきたい、台湾のパンケーキカフェ」です。ブログからぜひ見てみてください。

